

ハイライトよねやま 24

(財)ロータリー米山記念奨学会

2002年3月8日発行

1. 寄付金速報 ～特別寄付金増進を重点課題に～

2月までの寄付金収入は13億6千万円、前年同期と比べて約5千万円(3.5%)の減少となりました。1月まで順調に推移していた普通寄付金も前年同期比で970万円(2%)の減少となり、特別寄付金は4千万円(4.3%)の減少となりました。会員数が減少している中、寄付金増進は大変厳しい状況が続いています。当会では、いただいた寄付金の全てを奨学事業費に充てています。今年度の寄付金目標18億円を達成するために、年度末に向けて、特別寄付金に重点を置いた寄付増進の追い込みをよろしくお願いいたします。(武本)

2. クラブ創立記念寄付の薦め

2000年度から新たに「クラブ創立記念特別寄付」が表彰制度に加わりました。第2580地区米山奨学委員長の清水幸雄氏は、今年度創立記念式典を予定するクラブの会長宛に、創立記念のお祝いを兼ねた記念寄付ご協力の手紙を送付されました。その結果、早速ご寄付を申し出るクラブがありました。

各地区でも、寄付増進にはご苦労されているかと思われます。このようなクラブ創立記念寄付のアピールは大変効果がありますので、ぜひ各地区でもご参考ください。また、「当地区ではこのような寄付増進をしています」という、オリジナリティ溢れる寄付集めをされている地区がありましたら、当会までご連絡ください。(羽白・大庭)

3. 留学生宿舎事情～留学生の約70%が民間アパートで暮らしています

2001年11月に東京・台場にオープンした国際大学村では、単身・家族用併せて約800戸の宿舎を留学生に提供し、相談室、レクリエーション室、ラウンジなどの施設を完備しています。

また、「社員寮への留学生受入れプログラム」の実施を続けている(財)留学生支援企業協力推進協会では、現在、277企業800戸の社員寮を留学生宿舎として提供し、併せて生活相談、地域社会との交流事業を行っています。

このような留学生宿舎の増設により、十数年前には民間アパートに暮らす留学生が約80%でしたが、2001年度までには70%に減少しています。留学生宿舎施設の充実や生活面でのバックアップなどが留学生達の大きな支えとなることから、留学生宿舎の継続的な増設・拡大が留学生支援の大きな要素と言えるでしょう。(西辻)

ホームページリニューアル！ぜひご覧ください

(財)ロータリー米山記念奨学会 担当: おおぼ みぎけ 大庭・三宅

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8階 Tel: 03-3434-8681

Fax: 03-3578-8281